

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社ソリトンシステムズ 上場取引所 東
 コード番号 3040 URL <https://www.soliton.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 三須 貴夫 TEL 03-5360-3801
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 2021年8月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	8,697	15.2	1,235	127.0	1,309	138.2	930	178.0
2020年12月期第2四半期	7,552	0.2	544	313.3	549	402.7	334	2,209.2

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 876百万円 (145.0%) 2020年12月期第2四半期 357百万円 (410.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	50.18	—
2020年12月期第2四半期	17.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	16,192	7,663	47.2
2020年12月期	16,014	7,032	43.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 7,647百万円 2020年12月期 7,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2021年12月期	—	7.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	4.5	2,200	17.9	2,150	10.5	1,500	1.1	80.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	19,738,888株	2020年12月期	19,738,888株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	1,229,687株	2020年12月期	1,159,663株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	18,542,865株	2020年12月期2Q	18,959,260株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、先進国を中心にワクチン接種の促進による新型コロナウイルス感染症の収束の期待が高まるなか、足元では感染力の強い変異株が世界にまん延しつつあります。また、原材料価格の上昇や半導体の供給不足などの懸念材料もあり、依然として国内外の経済は不透明な状況が続いております。

一方、企業のDX化への投資意欲は引き続き高い水準です。テレワークやビジネスチャット、Web会議システムなどを活用して、デジタル上の職場環境である「デジタルワークプレイス」の構築が進みつつあります。この「デジタルワークプレイス」を安心、安全なものにするため、全ての社員とエンドポイントのデバイス群をカバーするセキュリティ対策が増々、重要になってきております。

このような環境下、売上高は8,697百万円（前年同期比15.2%増）、営業利益は1,235百万円（前年同期比127.0%増）、経常利益は1,309百万円（前年同期比138.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は930百万円（前年同期比178.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

① ITセキュリティ事業

売上高は8,228百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益は1,714百万円（前年同期比63.0%増）となりました。

自社製品/サービスを中心に販売を行い、セグメント売上高と利益は増収増益となりました。また、当四半期に新クラウドサービスとして「InfoTrace 360」の販売を開始しました。当該クラウドサービスは、「デジタルワークプレイス」で「誰が」「いつ」「何を」しているかを可視化、情報管理の状況や勤務実態、働く環境を把握の上、その改善や最適化を支援するサービスです。さらに、製造現場におけるサイバーセキュリティ対策を意識した新サービス「マネージドSoliton NK (Network Knowledge)」の販売も開始しました。製造現場はこれまでITシステム（情報系システム）とは接続されておらず、独立したネットワークとなっておりました。最近、DX化のトレンドと共にネットが融合しつつあり、サイバー攻撃のリスクが増加しております。当該サービスは、製造現場のネットワークを流れている全パケットを取得/保存し、分析や可視化などを行うものとなっています。

② 映像コミュニケーション事業

売上高は392百万円（前年同期比14.6%減）、セグメント損失は26百万円（前年同期はセグメント利益18百万円）となりました。

新型コロナウイルス感染症の再拡大で、オリンピック聖火リレーの警備や野外イベント向けのレンタルがキャンセルになったこと等によりセグメント売上高と利益は減収減益となりました。しかしながら、豪雨災害の現場では「Smart-telecaster ZA0-S」を搭載したドローンが多く活用され、国内のパブリックセイフティ分野（防災、治安、危機管理）では当社製品/サービスの有用性の認知は高まっております。なお、高画質な映像を共有させる「Zao Cloud View」映像配信プラットフォームのサービスは今後、格段のマーケティング活動が求められると認識されています。

③ Eco 新規事業開発

売上高は76百万円（前年同期比43.9%増）、セグメント損失は104百万円（前年同期はセグメント損失126百万円）となりました。

半導体の供給不安の影響で、人感センサーを前倒しで販売したことにより、セグメント売上高は増収となり利益の赤字幅は縮小しました。また、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）に、当社提案の超低消費電力のアナログエッジAIの開発が採択されました。数百μW以下の超低消費電力で動作し、各種センサーへの統合が可能なアナログエッジAIチップの開発を行います。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて178百万円増加し、16,192百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて115百万円増加し、12,559百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,422百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が836百万円、電子記録債権が333百万円、商品及び製品が110百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、3,632百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他が172百万円、ソフトウェア仮勘定が139百万円増加した一方、ソフトウェアが124百万円、繰延税金資産が103百万円減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて340百万円減少し、8,381百万円となりました。これは主に前受収益が795百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が317百万円、賞与引当金が271百万円、未払金が188百万円、未払法人税等が184百万円、流動負債のその他が111百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて112百万円減少し、147百万円となりました。これは主に長期未払金が76百万円、長期借入金が25百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部については、前連結会計年度末に比べて631百万円増加し、7,663百万円となりました。これは主に利益剰余金が800百万円増加した一方、自己株式を114百万円取得したこと等によるものであります。

なお自己資本比率は47.2%（前連結会計年度末比3.4ポイント増加）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,422百万円増加し、8,727百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動から獲得した資金は2,049百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,357百万円、売上債権の減少1,173百万円、前受収益の増加789百万円、たな卸資産の減少100百万円等であります。支出の主な内訳は、法人税等の支払額484百万円、仕入債務の減少319百万円、賞与引当金の減少271百万円、未払金の減少199百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は337百万円となりました。

支出の主な内訳は、出資金の払込による支出166百万円、無形固定資産の取得による支出143百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は298百万円となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額130百万円、自己株式取得による支出114百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2021年2月8日に公表いたしました数値より変更はありません。なお、新型コロナウイルスが業績に及ぼす影響について、今後も注視してまいります。連結業績予想の修正が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,305	8,727
受取手形及び売掛金	2,516	1,679
電子記録債権	856	522
リース投資資産	79	63
商品及び製品	539	428
仕掛品	58	79
原材料及び貯蔵品	111	100
前払費用	965	959
その他	78	28
貸倒引当金	△65	△29
流動資産合計	12,444	12,559
固定資産		
有形固定資産	1,260	1,205
無形固定資産		
ソフトウェア	353	229
ソフトウェア仮勘定	278	417
その他	14	14
無形固定資産合計	646	662
投資その他の資産		
投資有価証券	121	155
差入保証金	514	514
繰延税金資産	876	773
その他	155	327
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	1,662	1,765
固定資産合計	3,570	3,632
資産合計	16,014	16,192

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	871	553
短期借入金	189	161
リース債務	29	26
未払金	717	529
未払法人税等	540	356
前受収益	5,011	5,806
賞与引当金	709	438
役員賞与引当金	10	-
関係会社整理損失引当金	20	-
その他	619	508
流動負債合計	8,722	8,381
固定負債		
長期借入金	25	-
リース債務	49	37
長期未払金	150	73
その他	34	36
固定負債合計	259	147
負債合計	8,982	8,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326	1,326
資本剰余金	1,401	1,401
利益剰余金	5,418	6,219
自己株式	△1,230	△1,345
株主資本合計	6,916	7,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	13
為替換算調整勘定	88	32
その他の包括利益累計額合計	99	45
非支配株主持分	15	16
純資産合計	7,032	7,663
負債純資産合計	16,014	16,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	7,552	8,697
売上原価	4,162	4,793
売上総利益	3,390	3,904
販売費及び一般管理費	2,846	2,668
営業利益	544	1,235
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	0
為替差益	-	74
受取補償金	13	-
助成金収入	-	1
その他	1	1
営業外収益合計	28	78
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	16	-
貸倒引当金繰入額	-	0
固定資産除却損	0	-
支払手数料	2	2
その他	2	0
営業外費用合計	22	4
経常利益	549	1,309
特別利益		
退職給付制度終了益	2	-
債務免除益	-	51
特別利益合計	2	51
特別損失		
投資有価証券評価損	1	-
関係会社整理損	-	3
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	550	1,357
法人税、住民税及び事業税	225	308
法人税等調整額	△8	119
法人税等合計	216	428
四半期純利益	334	929
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	334	930

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	334	929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	1
為替換算調整勘定	14	△55
退職給付に係る調整額	14	-
その他の包括利益合計	23	△53
四半期包括利益	357	876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	358	876
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	550	1,357
減価償却費	183	194
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	-	△21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△36
賞与引当金の増減額 (△は減少)	83	△271
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	△10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△342	-
受取利息及び受取配当金	△12	△0
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	15	△86
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	-
売上債権の増減額 (△は増加)	449	1,173
たな卸資産の増減額 (△は増加)	246	100
前払費用の増減額 (△は増加)	2	8
前渡金の増減額 (△は増加)	△3	5
仕入債務の増減額 (△は減少)	△170	△319
未払金の増減額 (△は減少)	101	△199
長期未払金の増減額 (△は減少)	151	△76
前受収益の増減額 (△は減少)	599	789
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	-	0
その他	33	△73
小計	1,880	2,535
利息及び配当金の受取額	12	0
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△79	△484
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,813	2,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△485	△23
無形固定資産の取得による支出	△332	△143
差入保証金の差入による支出	△0	△8
出資金の払込による支出	-	△166
その他	2	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△816	△337
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1	△3
長期借入金の返済による支出	△140	△50
配当金の支払額	△94	△130
自己株式の取得による支出	-	△114
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233	△298
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	761	1,422
現金及び現金同等物の期首残高	6,913	7,305
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△3	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,671	8,727

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	I Tセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
外部顧客への売上高	7,040	459	53	7,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	3	9	21
計	7,048	462	62	7,574
セグメント利益又は損失 (△)	1,052	18	△126	944

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	944
全社費用(注)	△400
四半期連結損益計算書の営業利益	544

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	I Tセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
外部顧客への売上高	8,228	392	76	8,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	12	9	33
計	8,239	405	86	8,730
セグメント利益又は損失 (△)	1,714	△26	△104	1,583

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,583
全社費用(注)	△347
四半期連結損益計算書の営業利益	1,235

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。